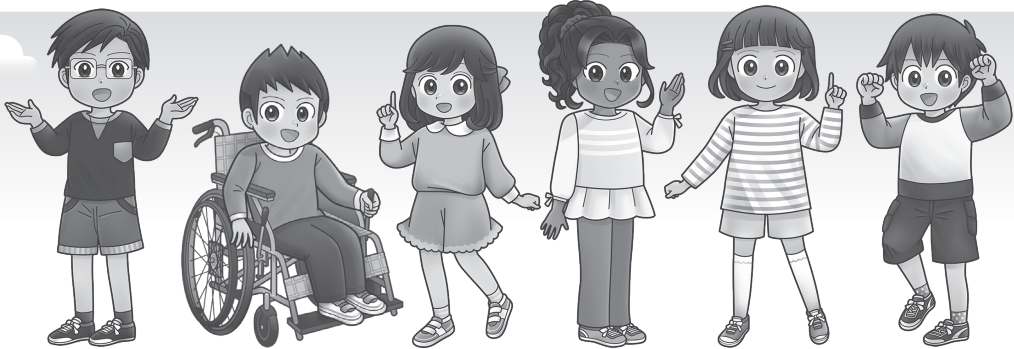


編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-154	小学校	体育	保健	3・4
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
2 東書	保健 306	新編 新しいほけん 3・4		

1. 編修の基本方針



すべての子どもが輝く未来へ みんながつながる保健の教科書

子どもたちが、生涯を通じて健康・安全で幸福に生きることは、私たちの願いです。そのためには、健康・安全について「何を知っているか」だけではなく、「知っていることを使ってどのように社会と関わり、よりよい人生を送るか」という視点から、知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性などを、総合的に育てていくことが求められています。また、健康や安全への課題を捉えるには、保健の見方・考え方を働かせ、「疾病等のリスクの軽減」「生活の質の向上」「健康を支える環境づくり」に関連づけて考えることが重要であり、その際、自分や他者の多様性を理解し、多様な他者と協働して解決していくことが必要となります。

本教科書は、教育基本法の理念を踏まえ、保健における主体的・対話的で深い学びを実現し、すべての子どもが輝く未来へつながる資質・能力の育成を目指して編集しました。



特色 **1**

わたしができる 健康への4ステップ

健康についての課題を
「自分ごと」として考えられる
教科書

特色 **2**

オールインワンで 保健の授業をサポート

ノートもデジタルも
この教科書1冊で

特色 **3**

もっと知ろう 「心」と「体」

命や健康を守るための
知識とスキルが身につく
教科書

わたしができる健康への4ステップ

健康についての課題を「自分ごと」として考えられる教科書

児童が健康についての課題を「自分ごと」として捉え、主体的に学習することができるように、各項を「ステップ1」～「ステップ4」の学習活動で構成しました。

ステップ

1 気づく・見つける

自分の健康課題を見つける活動

授業の導入となる簡単な問いかけ・活動です。児童が自分の健康課題について気づいたり、見つけたることができます。

(▼p.17)

ステップ 1 気づく・見つける 下の絵を見て、日ごろからしていることしるし✓をつけましょう。

毎日、下着を洗いかえる。

食事の前には、せっけんで手をあらう。

食後やねる前に歯みがきをする。

家に帰ったら、うがいをする。

せいけつなハンカチを使う。

ふすで、体や顔をあらう。

なぜ、このようなことをしているのかな。

メモ

手や足のつめを切る。

ステップ

2 調べる・解決する

課題の解決に向けて取り組む活動

「学習の課題」を受けて、その課題を解決するために児童が主体的に情報を収集し、調べたり、話し合ったりする活動です。

(▼p.18)

ステップ 2-1 調べる・解決する 手をあらう理由を考えましょう。

1 水でぬらしただしめんで、手をよくふき、よごれを調べましょう。

2 1) と下の実験のけつから、分かったことを書きましょう。

実験の手

手のよごれを調べよう。

実験の様子

実験の手

水だけであらった手

せっけんであらった手

実験の結果

実験の手

水だけであらった手

せっけんであらった手

ステップ

3 深める・伝える

習得した知識をもとに考え、筋道を立てて表現する活動

ここまで学習したことをもとに、さらに考えたり、意見やその理由を相互に表現し合ったりする活動です。主体的・対話的で深い学びの中心となります。

(▼p.19)

ステップ 3 深める・伝える こうきさんが、おかしを食べる前に手をあらわないといけないと思った理由を考えて書きましょう。

あつ、手をあらわなくちゃ。

こうきさん

ステップ

4 まとめる・生かす

学習したことをまとめ、自分の生活やこれからの学習に生かすための活動

授業の最後で、学習したことをまとめるとともに、生活を見直す、もっと調べたいことを考えるなど、児童自身の生活に生かすための活動です。

(▼p.20)

ステップ 4 まとめる・生かす 1 () の中に言葉を入れて、今日の学習をまとめましょう。

けんこうにすごすには、() や体をあらったり、() やくつ下、ハンカチを毎日取りかえたりして、体や衣服などを() にたもつことがひつようです。

2 これまでの生活をふりかえり、よいところ、直したほうがよいところを考えてみましょう。

次の時間は、

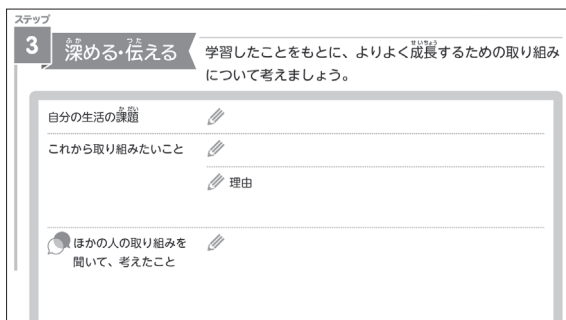
「けんこうによいかんきょう」について学習するよ。部屋の空気や明るさについて気をつけていることはあるかな。

特色 2 オールインワンで保健の授業をサポート

ノートもデジタルもこの教科書 1冊で

1 記入スペースを豊富に設けました。

ステップ 1～ステップ 4 には、思考・判断したことを表現するスペースを設けました。教科書をワークシートのように活用することができます。さらに、各ステップ 4 と各巻末にはワークシートの QR コンテンツ*も用意しています。(▼p.41)



*二次元コードから Web に接続するデジタルコンテンツ

2 児童の学びをサポートする QR コンテンツを大幅に充実させました。

実験や説明の動画、思考ツールやシミュレーション、まとめのワークシートなど、紙面を補完する QR コンテンツが充実。学びを深め、広げるコンテンツが充実しています。



この QR コンテンツでは、実験の様子を動画で確認することができます。

(◀p.19)

特色 3 もっと知ろう「心」と「体」

命や健康を守るための知識とスキルが身につく教科書

1 今日的な健康情報を扱う「資料」のページを充実させました。

資料

学習内容に関連した情報を、「資料」として各巻末に掲載しました。児童の命や健康を守るための情報を豊富に掲載しています。(▼p.12)



2 「スキルマーク」を新設しました。

スキル

命や健康を守るために児童に身につけてほしいスキルについて扱う箇所には、参照しやすいように「スキルマーク」を付しました。(▼p.20)



2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭	<ul style="list-style-type: none"> 「ほけんの学習を始めよう」では、多様な子どもたちが学びに向かう姿を表現し、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるようにしました。(第3号) 「ほけんの学習を始めよう」「どんな自分になりたいかな」では、健康の大切さや、健康についての考えについて触れ、健やかな身体を養うことの大切さについて理解できるようにしました。(第1号) 「ほけんの学習」「この教科書の使い方」では、主体的に思考・判断・表現したり、仲間と話し合ったりしながら課題を解決していく学習について説明し、自主及び自律の精神を養うとともに、協力を重んずる態度を養うことができるようにしました。(第2号、第3号) 	<ul style="list-style-type: none"> 表紙②～1 表紙②～1、3 4～5
各章	<ul style="list-style-type: none"> 章とびらでは、その章の目的や学習内容が端的に分かるようにするとともに、「つなげよう」で道徳など他の教科との関連を示し、幅広い知識と教養を身につけ、道徳心を培うことができるようにしました。(第1号) 本文や「資料」では、健康についての知識を端的に記載し、幅広い知識と教養を身につけ、健やかな身体を養うことができるようにしました。(第1号) 主体的に思考・判断・表現したり、仲間と話し合ったりしながら課題を解決していく学習活動を随所に設け、自主及び自律の精神を養うとともに、協力を重んずる態度を養うことができるようにしました。(第2号、第3号) 章とびら以外でも他教科との関連を随所に示し、幅広い知識と教養を身につけることができるようにしました。(第1号) 「けんこうを守る活動」では、学校では多くの人が健康を守る仕事をしていることを取り上げ、勤労を重んずる態度を養うことができるようにしました。(第2号) 4年「体の成長とわたし」では、くり返し「個人差」について記述し、個人の価値を尊重する態度を養うことができるようにしました。また、自分の成長を実感したり、体の成長について理解したりすることで生命を尊ぶ態度を養うことができるようにしました。(第2号、第4号) イラストでは、男女の数や役割に配慮するとともに、国籍、年齢、障がいの有無など多様な人々を表現し、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるようにしました。また、イラストや写真で外国にルーツのある子どもを掲載し、他国を尊重する態度を養うことができるようにしました。(第3号、第5号) 写真やイラストで、日本の伝統的な行事や、身近な地域の生活場面を掲載し、伝統と文化を尊重し、郷土を愛する態度を養うことができるようにしました。(第5号) 	<ul style="list-style-type: none"> 2、26 7～25、27～42 4、7～25、27～42 19、23、28、40など 25 26～42 表紙②～1、3、8～9、14～15、23、31など 6～9、11、43～44など
巻末	<ul style="list-style-type: none"> 資料「運動を楽しく続けよう」では、家族や友人、地域の人などに関わる場面を示しながら、身近な生活から体力向上を図ることを示し、健やかな身体を養う態度、生活との関連を重視する態度、協力を重んずる態度を養うことができるようにしました。(第1号、第2号、第3号) 資料「外で遊ぶときに注意すること」では、命を守るために必要な防犯や防災に関する内容を扱い、生命を尊ぶ態度を養うことができるようにしました。(第4号) 	<ul style="list-style-type: none"> 43～44 45

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

すべての児童が使いやすく分かりやすい紙面の配慮と工夫

①特別支援教育への配慮

- 特別支援教育の研究者に**専門的見地からの校閲**を受け、できるだけ多くの児童にとって読みやすく使いやすい教科書となるよう、配慮をしました。**特別支援教育に有効な機能が充実した「学習者用デジタル教科書」**を全書目で発行予定です。
- 文節改行**(文節の切れ目で改行)を基本とし、文章を読み取りやすくすることで、文章の読解の段階でつまづきがないように配慮しました。
- 「**学習の進め方**」を**各項の冒頭で毎回示し、授業の見通し**をもって学習ができるようにしました。

②人権上の配慮

- 教科書に登場する人物の人数や役割には、**性別による極端な偏りがないように配慮**しました。
- 成長には**個人差があることを強調し、多様性や個人の価値の尊重に配慮**しました。

③ユニバーサルデザインへの取り組み

- 書体は、**独自に新開発したUD教科書体**を採用しました。このUD教科書体は、**従来の教科書体に比べてさらに太く、視認性をいっそう向上させる**など、ユニバーサルデザインの考え方に基づき、より多くの人に見やすく読み間違えにくいデザインの文字となっています。
- 色覚の多様性に配慮し、**カラーユニバーサルデザイン**の観点から、配色およびデザインについて、**全ページにわたって専門家による検証**を行いました。弱視の児童のために、「拡大教科書」および「学習者用デジタル教科書」を発行予定です。

④造本上の工夫

- **書き込みがしやすく、かつ、軽量で丈夫な用紙を開発**し、採用しました。教科書をワークシート的に活用できるようにするとともに、重量による身体的負担の軽減に配慮しました。
- 児童が長期にわたって使用することをふまえ、**強力な接着剤を用いたPURあじろ綴じ**で製本し、堅牢性を保ちつつ紙面をしっかりと開くことができるようにしました。
- 環境に配慮して、**再生紙、植物油インキ**を使用しました。また、印刷業団体が定めた環境配慮基準を満たした「**グリーンプリンティング認定工場**」で印刷・製造を行いました。

2 今日的課題への取り組み

⑤ご指導経験の浅い先生方への配慮

- 各項をステップ1～ステップ4で構成し、**授業の流れを分かりやすく示**しました。
- 主発問と児童の思考を促す補助発問を効果的に配置し、**スモールステップ**で指導できるようにしました。
- 「**学習の課題**」と授業のまとめ（「**ステップ4 まとめる・生かす**」）を各項に設定することで、各項で習得する知識が明確になるようにしました。

? **学習の課題**

⑥評価への取り組み

- 児童が**思考・判断したことを表現する記入欄**や、**学習をまとめる記入欄**など、先生方が評価をするための手がかりとなる箇所を多く盛り込みました。



⑦カリキュラム・マネジメントへの取り組み

- 養護教諭や栄養教諭、学校医などが紙面で登場する場面を随所に設け、**学校内外の専門性を有する人材の有効活用**に配慮しました。(p.14、23、32、41)
- 章とびらや本文ページで、**他教科との関連**を随所に示し、**教科横断的な指導**ができるように配慮しました。(p.6、19、23、26、28、40)



ほけん室の先生
(養護教諭)



関連マーク

3 そのほかの取り組み

⑧教育のICT化への取り組み

- 動画やシミュレーションなど、**QRコンテンツ**を豊富に用意しました。タブレット端末やパソコンなど、端末を問わずに簡単に使用することができます。※ QRコンテンツを使用する際の通信費は自己負担となります。
- 情報教育の研究者や実践者に専門的見地からの指導や校閲を受け、コンピュータを活用して、教科の学びを効果的に高めることができるようにしました。
- 一人1台端末環境の実現に伴い、二次元コードからリンクする特設コンテンツとして「**コンピュータを学習に生かそう**」を設けました。自律した端末の使い手となるよう、さまざまな場面での活用を促すとともに、情報モラルを含めた留意点についても楽しく学ぶことができます。(p.4)
- **コンピュータの使用と健康上の注意点**などについて、QRコンテンツや資料で示しました。(p.4、24、42)

⑨SDGs

- 持続可能な開発目標「SDGs」について、映像などをもとに学ぶことができる特設サイトとして「**SDGs わたしたちがつくるみらい**」を設けました。また、各章のとびらには学習内容と関係するSDGsの目標を記載しました。(p.6、26)

⑩感染症対策

- 教科書冒頭に、感染症の予防について注意喚起を行う「**うつらない うつさない ために**」を設けました。二次元コードから、基本的な感染症予防についてまとめたサイトを閲覧することができます。(p.3)

編修趣意書

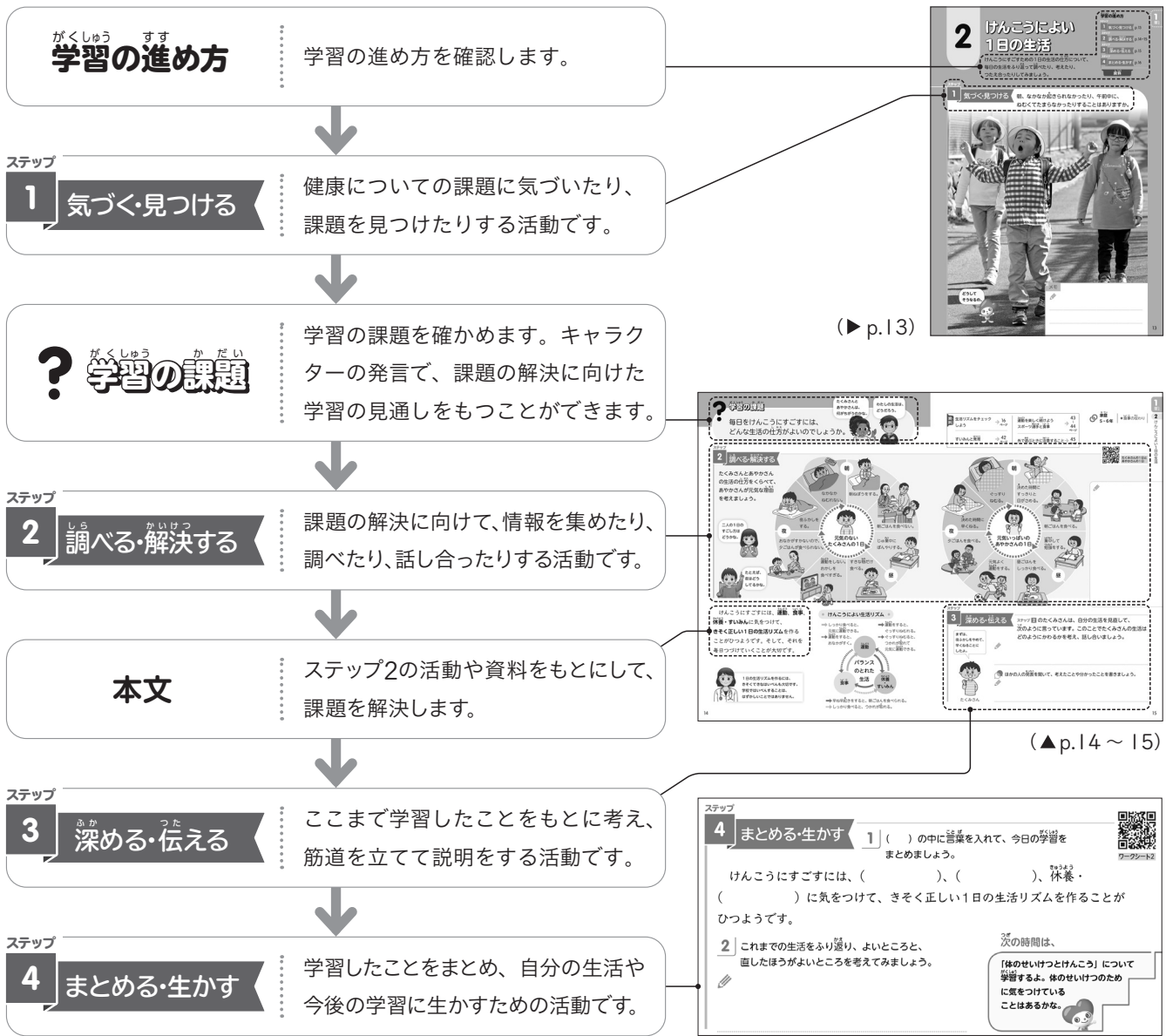
(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-154	小学校	体育	保健	3・4
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
2 東書	保健 306	新編 新しいほけん 3・4		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1 主体的・対話的で深い学びを実現させる教科書

「主体的・対話的で深い学び」を保健の授業で実現するために、授業の流れを分かりやすく、紙面化しました。各ステップに記入スペースを用意し、思考・判断したことを表現できるようにしました。



2

QRコンテンツ*の圧倒的充実

*二次元コードから Web に接続するデジタルコンテンツ

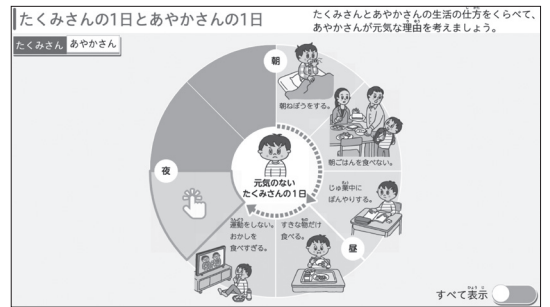
学びを深め、広げることができる QR コンテンツを質量ともに充実させました。



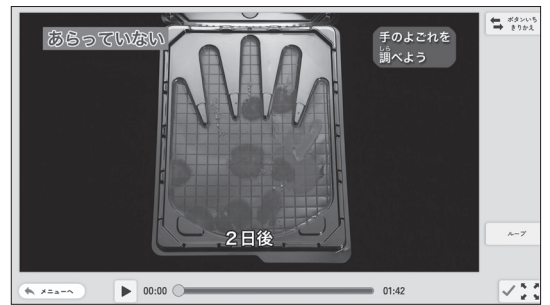
紙面の随所に二次元コードを配置しました。二次元コードから直接リンクして QR コンテンツを起動させることができるようにしました。

● QR コンテンツ一覧

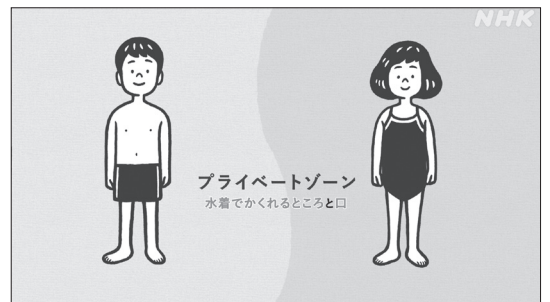
タイトル	ページ
動画ほか うつらない うつさない ために	3
ウェブサイト タブレットやコンピュータの使い方 (使い方・注意点)	4
動画 タブレットやコンピュータの使い方 (情報の探し方)	4
ウェブサイト SDGs わたしたちがつくる未来	6、26
思考ツール けんこうに関係していること	10
シミュレーション たくみさんの1日とあやかさんの1日	15
ワークシート 生活リズムチェックシート	16
動画 手のよごれを調べよう(実験の様子)	18
動画 下着やくつ下のよごれを調べよう(実験の様子)	19
動画 手のあらい方	20
動画 空気の入れかえについて調べよう(実験の様子)	22
図鑑 赤ちゃんの身長と体重	27
シミュレーション のびの計算	28
シミュレーション 男女の体つきの変化	34
アニメーション プライベートゾーン	34
シミュレーション 男女の体にあらわれるそのほかの変化	34
アニメーション 月経・射精の仕組み	35
動画 新しい命の始まり	38
動画 赤ちゃんのたん生	38
アニメーション 性と自分らしさ	38
動画 スポーツ選手にインタビュー	41
動画 体づくり運動	43
動画 5・6年生で学ぶこと	45



(▲p.15 たくみさんの1日とあやかさんの1日)



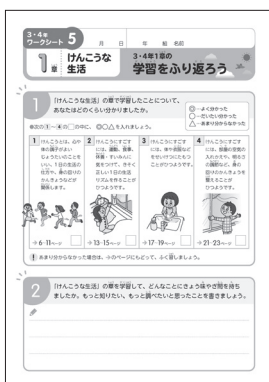
(▲p.18 手のよごれを調べよう (実験))



(▲p.34 プライベートゾーン)

上記のほか各項、各章末にまとめのワークシートを収録しています。

(合計9点)



(▲p.25 ワークシート 3・4年 1章の学習をふり返ろう)



(◀p.45 5・6年生で学ぶこと)

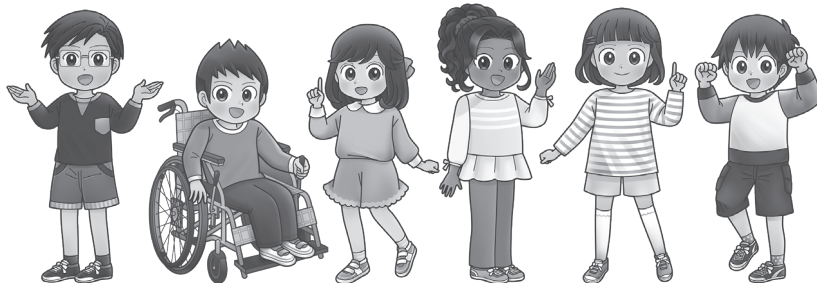


(▲p.38 性と自分らしさ)

3

だれ一人取り残さない すべての子どもが輝く未来へつながる

多様性を認め合い、共生社会を目指す子どもを育むため、全編にわたり写真、イラスト、記述に配慮しました。



(▲多様なキャラクター)

SDGsとは この章に関するSDGsの主な目標

3 持続可能な開発目標

5 ジェンダー平等を

(▲p.26 学習内容と関係するSDGsの目標)

体の変化や自分の性、だれかを好きになる気持ちについて、ほかの人とちがうと感じたり、不安になったりすることがあれば、保健室の先生や、信賴できる人に相談しましょう。

(▲p.37 思春期にあられる変化についての配慮)

未来を担う子どもたちが、心や体の健康を守るために
知っておいてほしい情報を「資料」として豊富に掲載しました。

資料
しりとり
じょう

タイトル	ページ
心が元気になること	12
生活リズムをチェックしよう	16
手のあらい方	20
コンピュータの使用とけんこう	24
けんこうを守る活動(学校)	25
骨や歯の発育	32
新しい命	38
性と自分らしさ	38
すいみんと発育	42
運動を楽しく続けよう	43
スポーツ選手と食事	44
外で遊ぶときに注意すること	45

性と自分らしさ

人には、体の性以外にも、いろいろな性の「ものさし」(気持ちや考え方)があります。それらは、一人一人、少しずつちがっていて、組み合わさって、わたしたちの「自分らしさ」となっています。

体の性: 生まれたときの体の性

心の性: 自分が思う自分の性

自分らしさ

好きになる性

服そうや言葉づかいなど表現したい性

(▲p.38 性の多様性への配慮) (▲p.42 すいみんの注意事項)

すいみんと発育

人は、夜ねてから朝起きるまで、深いすいみんと浅いすいみんをくり返しています。なむり始めの深いすいみんの間には、成長ホルモンが多く出ます。成長ホルモンは、骨や筋肉、内臓などの発育を助けます。また、浅いすいみんにも、記憶をたしかなものにしたり、つかけを回復したりする効果があります。このように、すいみんは、健康な生活や、よりよい成長のためにも重要です。

十分なすいみんをとるために

- 生活リズムを整え、日中に適度な運動をする。
- ねる前に食べすぎない。
- ねるときには部屋を暗くする。
- 朝起きたらカーテンを開けて光を浴びる。

「スキルマーク」を新設し、心や体の健康や安全を守るために
身につけてほしいスキルを掲載しました。

スキル

心が元気になること

あなたには、「○○をすると元気になる」「○○をすると楽しくなる」ということがありますか。それはあなたの「元気のもと」です。元気のもとを築いておくと、嬉しい気持ちのとき、いやな気持ちのとき、気持ちがつかれたときに役に立ちます。

みんなは、どんなときに元気になるかな？

大きな声で笑ったとき！

友達と大笑いしたとき！

好きなアニメを見てるとき！

先生の話がわかるようになったとき！

大きな声で歌ったとき！

大きな声で笑ったとき！

(▲p.12 発達段階に応じた心のセルフケア)

コンピュータの使用とけんこう

コンピュータを長い時間使っていると、目がつかれたり体がだるくなったりします。けんこうのために、次のことに気をつけましょう。

●正しい姿勢で使う。

●30分1回は、遠くから目を休ませ、20秒以上目を休ませる。

●ねる1時間前からは、遠くから目を休ませ、20秒以上目を休ませる。

●目がかかないように、ときどき、まばたきをする。

●目や鼻の痛みを知らせる。

(▲p.24 一人1台端末の使用と健康への配慮)

外で遊ぶときに注意すること

外遊びを元気に楽しむためには、運動をしたり外遊びをしたりすることが大切なことを学習しました。外に出かけるときには、次のようなことに注意して、安全に遊びましょう。

安全については、5年生の「けがの防止」でくわしく学習するよ。

家の人に、会う人、行き先、帰る時どくを知らせておく。

できるだけ一人にならない。ほかの人から見えない所では選ばない。

暑い日はできるだけ通らない。

知らない人に声をかけられても、ついて行かない。

きけんなときに応じて知らせる場所を見えておく。

天気をよくにんい、きけんなときは外に出ない。

自然災害が起きたときのきけんな場所を知っておく。

自然災害が起きたときのきけんな場所を見えておく。

(▲p.45 防犯、防災の注意事項)

観点別特色の一覧

<p>教育基本法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●健康や安全についての、幅広い知識と教養を身につけ、健やかな身体を養うことができるようにするために、個人の価値の尊重や自主自律の精神、協力を重んずる態度を育みながら学習することができるように紙面を編集しました。(全体)
<p>学習指導要領</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校学習指導要領(総則)の基本方針である授業改善の推進を受けて、資質・能力の育成のための優れた研究や実践の成果をもとに紙面を編集しました。(全体) ●小学校学習指導要領(体育科)に示された目標に則り、保健の見方・考え方を働かせ、課題を見つけ、その解決に向けた学習過程を通して、生涯にわたって心身の健康を保持増進するための資質・能力を育成することができるようにしました。(全体)
<p>内容・系統</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●保健の内容について系統性のある指導ができるよう、🌀マークを随所に設け、小学校の保健の他学年の内容と関連を図りました。(p.19、32、37、41) ●運動に関する内容を随所に積極的に取り上げ、運動領域との関連を図りました。(p.14、40、43～44など)
<p>組織・配列・分量</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●学習指導要領の配列に合わせ、各学年の内容を配列しました。 ●各学年とも、学習指導要領に示された内容の所定配当時数内での指導が可能なように構成しました。 ●基本的に1項目を1単位時間4ページで構成し、見通しをもって学習できるように配慮しました。例外的に2単位時間扱いとなる項については、項タイトルの近くに「(全2時間)」と明示し、1単位時間の区切りとなる箇所も明示しました。(p.33、35)
<p>知識・技能の習得への取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●基礎的・基本的な知識は本文で簡潔にまとめました。本文のなかで特に大切な部分はゴチック体としました。 ●各項の「ステップ4」では、学習した内容をまとめる活動を取り入れました。 ●章末にQRコンテンツで「学習をふり返ろう(ワークシート)」を収載し、学習事項を自己チェックすることにより、学習内容を整理できるようにしました。
<p>思考力・判断力・表現力の育成への取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●各項に「ステップ1」～「ステップ4」の活動を設定し、活動を通じて、思考力・判断力・表現力を育成することができるようにしました。 ●判型をA4判とし、児童が思考・判断・表現したことを書くための記入スペースを豊かつ適切な箇所に設けました。 ●児童の生活場面を想起させる写真やイラストをダイナミックに配置し、児童が身近な例から健康課題を見つけることができるようにしました。
<p>学びに向かう力、人間性等への配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●各項の2ページ目の冒頭で「学習の課題」を明示しました。「ステップ1」の活動を行った後で、「学習の課題」を確認することで、「学習の課題」をより自分のこととして捉えられるようにしました。 ●「ステップ4」では、学習を踏まえて自分の生活を見直す活動を設け、学習したことを実生活で生かせるようにしました。また、ガイドキャラによる次の時間の学習に向けた投げかけの言葉を付し、次の保健の学習に意欲的に取り組むことができるようにしました。 ●章末のQRコンテンツ「学習をふり返ろう」では、その章の学習を終えて、もっと知りたいと思ったことや、調べたいと思ったことを書くことができるようにしました。
<p>主体的・対話的で深い学びへの取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●主体的・対話的で深い学びとなるよう各項を「ステップ1」～「ステップ4」で構成し、それぞれの「ステップ」の活動を工夫しました。 ●児童の気づきを大切に「ステップ1」で問題意識を高めた後で、「学習の課題」を掲示することで、より主体的に学習に取り組むことができるようにしました。 ●それまで学習したことをもとに行う「ステップ3」は、「考える」「説明する」「話し合う」「他の人の意見を聞いて考えたことや分かったことを書く」など、主体的・対話的で深い学びの中心となる活動としました。
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●学年別配当漢字に配慮しながら、熟語ではできるだけ交ぜ書きをなくす配慮から、学習当該学年の1学年上の漢字をふりがなつきで示すようにしました。また、ふりがなは初出だけでなく、必要な漢字すべてにつけました。 ●さし絵は学習事項を的確に表現するとともに、児童にとって親しみやすいものとししました。 ●さし絵や写真では、男女の比率やそれぞれの役割に偏りのないように配慮し、固定的なイメージで性の区別をしないようにしました。

ユニバーサルデザインへの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●カラーユニバーサルデザインの視点から、全ページの配色や色に関わる表現を点検するとともに、紙面の色数を限定し、だれも見やすく、落ち着いたレイアウトとしました。(全体) ●本文などの書体、大きさは、児童の発達段階に配慮して選定しました。すべての文字は、読みやすさに優れたユニバーサルデザイン(UD)フォントを用いました。また、本文では新開発の「UD教科書体」を採用しました。(全体)
------------------	---

今日的な課題への対応	●多くの今日的な課題に対応した内容を取り上げました。
【多様性・共生社会】 社会の多様性に対応したキャラクター設定とし、多様な子どもたちが共に学びに向かう姿を随所で表現しました。	表紙②～1、3など
【心の健康】 発達段階に応じた心のセルフケアができるように資料「心が元気になること」を掲載しました。	12
【生活リズム】 規則正しい生活リズムの定着を目指し、資料「生活リズムをチェックしよう」を掲載しました。	16
【感染症予防】 感染症予防のため、教科書冒頭に「うつらない うつさない ために」を設けました。また、「手についたきんが体に入る仕組み」や資料「手のあらい方」などを扱いました。	3、18、20
【コンピュータと健康】 教科書冒頭のQRコンテンツで「コンピュータを学習に生かそう」を掲載するとともに、資料「コンピュータの使用とけんこう」で、健康上の注意点を端的に示しました。	4、24
【キャリア教育】 学校で行われている健康を守る活動を行っている人を紹介する資料「けんこうを守る活動(学校)」を掲載しました。	25
【個人差】 2章「体の成長とわたし」では思春期における体の成長や体や心の変化を肯定的に捉えられるように、くり返し「個人差」について記述しました。	30、32、35～38
【思春期の体重増加】 誤ったやせ願望による不健康なダイエットを防ぐため、本文や養護教諭のコメントで身長が伸びる思春期に体重が増えることは自然なことであることを記載しました。	30～31
【プライベートゾーン】 犯罪から子どもたちを守るためQRコンテンツ「プライベートゾーン」を掲載しました。	34
【性の多様性】 性の多様性に対応した本文記述やイラストキャプション、養護教諭のコメントを掲載するとともに、資料「性と自分らしさ」を掲載しました。	37、38
【生命尊重】 資料「新しい命」を掲載するとともに、QRコンテンツ「新しい命の始まり」「赤ちゃんのたん生」を掲載しました。	38
【睡眠】 睡眠の効果や十分な睡眠をとる方法を理解できるように資料「すいみんと発育」を掲載しました。	42
【体力向上】 日常生活でも積極的に運動をするように呼びかける資料「運動を楽しく続けよう」を掲載しました。	43～44
【食育】 食事の大切さについてより理解を深められるように資料「スポーツ選手と食事」を掲載しました。	44
【防犯】【防災】 外遊びをするときの安全への配慮として資料「外で遊ぶときに注意すること」を掲載しました。	45

2. 対照表

配当時数計：8

学年	図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
3年	1章 けんこうな生活	(1) ア(ア)、(イ)、(ウ)、イ	6～25	全4時間
	1 けんこうというたからもの	(1) ア(ア)、イ	7～12	1
	2 けんこうによい1日の生活	(1) ア(イ)、イ	13～16	1
	3 体のせいけつとけんこう	(1) ア(イ)、イ	17～20	1
	4 けんこうによいかんきょう	(1) ア(ウ)、イ	21～25	1
4年	2章 体の成長とわたし	(2) ア(ア)、(イ)、(ウ)、イ	26～42	全4時間
	1 育ちゆくわたしたちの体	(2) ア(ア)、イ	27～32	1
	2 思春期にあらわれる変化	(2) ア(イ)、イ	33～38	2
	3 よりよく成長するための生活	(2) ア(ウ)、イ	39～42	1

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-154	小学校	体育	保健	3・4
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
2 東書	保健 306	新編 新しいほけん 3・4		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
24	コンピュータの使用とけんこう	2	G 保健 (1) 健康な生活 ア(イ)(ウ)	0.75
			G 保健 (2) 体の発育・発達 ア(ウ)	
32	骨や歯の発育	2	G 保健 (2) 体の発育・発達 ア(ア)	0.75
38	新しい命	2	G 保健 (2) 体の発育・発達 ア(イ)	0.5
38	性と自分らしさ	2	G 保健 (2) 体の発育・発達 ア(イ)	0.5
42	すいみんと発育	2	G 保健 (2) 体の発育・発達 ア(ウ)	0.75
			G 保健 (1) 健康な生活 ア(イ)	
45	外で遊ぶときに注意すること	1	5・6年 G 保健 (2) けがの防止 ア(ア)	1
合計				4.25

「類型」欄には、申請図書における発展的な学習内容の記述について、以下の分類により該当する記号を記入する。

- ・ 学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容……1
- ・ 学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容……2